

金融からの持続可能な地域づくり



2022.10.29

高山市SDGSアドバイザー
慶應大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授
古里圭史

※本論の内容は個人の見解であり、必ずしも飛騨信用組合等、所属団体の公式見解を示すものではありません。

金融（ファイナンス）

「お金を融通すること」

※融通→滞らずに通ずること



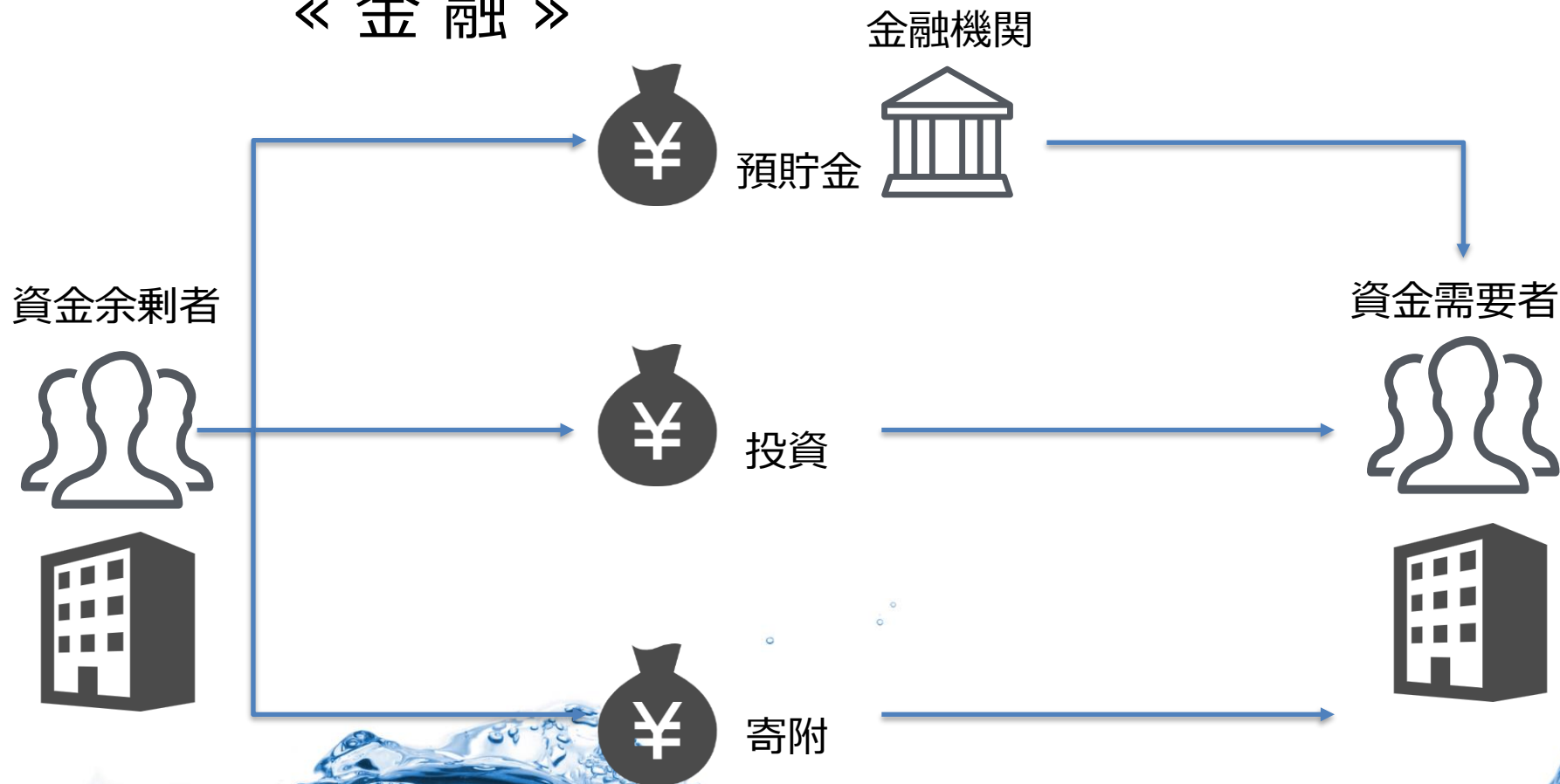
「お金をぐるぐる回すこと」

「余裕のあるお金を持っている人から、今すぐにお金が必要な人へお金を回すこと」

「資金余剰者から資金不足者へ資金を融通すること」

ファイナンスの基礎構造

《 金融 》



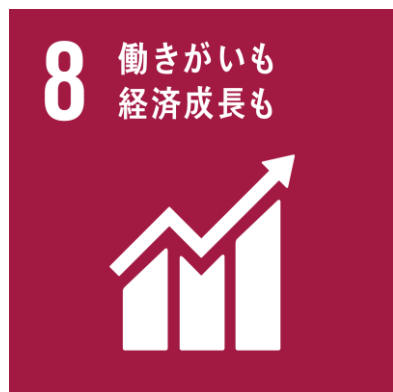
資金を必要としている先に対して、適切に資金を融通すること

生活・活動を行うためにはお金が必須



そしてその取り組みを支えているのは
『金融』という仕組み

■ SDGsと金融



主に9つのターゲットに該当するが・・・

8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、**金融サービスへのアクセス改善**などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

8.10 国内の金融機関の能力を強化し、全ての人々の銀行取引、保険及び**金融サービスへのアクセス**を促進・拡大する。

■ SDGsと金融

いずれも金融サービスへのアクセス改善を目指す内容



『金融排除』の廃絶、 『金融包摂』の志向

本質的なSDGsに沿った金融領域の取り組みというものは、日々の深いコミュニケーションを通じた地域・地域住民（事業者・個人）との緊密な関係性に基づく金融包摂の取り組み。

例えば 金融機関においては…

≠リレーションシップバンキング

ソーシャルファイナンスが必要とされる背景

プライベートセクター
(企業と市民)

パブリックセクター
(行政)

少子高齢化、転出超過→人口減少→売上減少/歳入減少

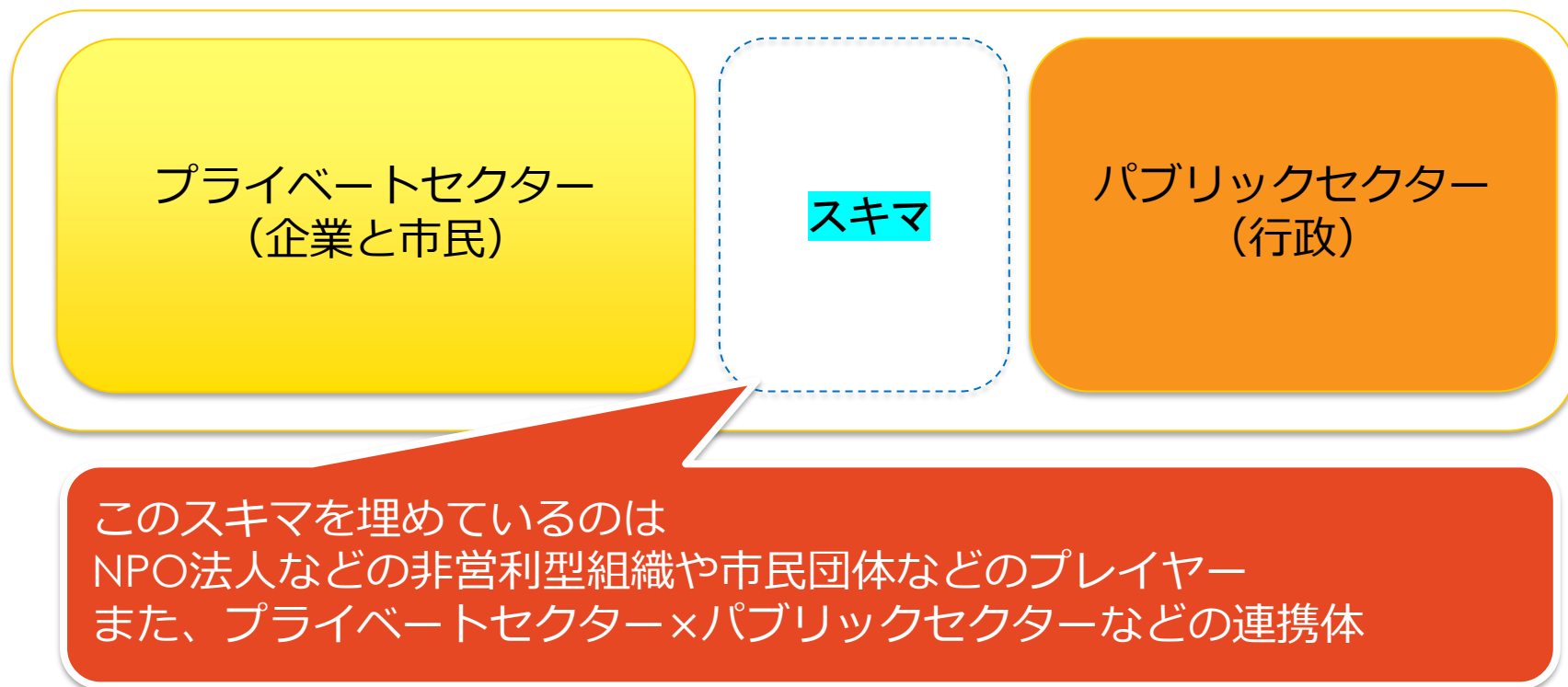
ここを誰が
埋めるのか

プライベートセクター
(企業と市民)

スキマ

パブリックセクター
(行政)

ソーシャルファイナンスが必要とされる背景



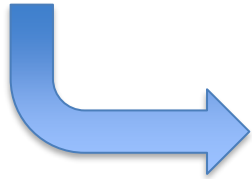
これからの社会においては、
公×民、公×民（社）、民×民（社）のようなクロスセクシ
ョンによる連携した座組みでの取り組みが非常に重要となる

ソーシャルセクターと呼ばれる 非営利組織や市民団体の活動における課題はなにか

- 利益の獲得を企図した活動・事業体ではないため、収益性が低く、また財務的な基盤が脆弱であること
- 有志によるボランティアの集まりに留まる小規模な組織が殆どであり、様々な面でリソースが不足
- 活動の財源を自らの持ち出しや有志からの寄附にて賄っており、事業の継続性の担保が難しい
行政などからの補助金・助成金も財源として見込めるものの継続的な資金源としては不安がある。

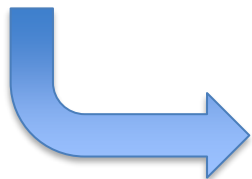
① ソーシャルセクター側の問題

- ・利益の獲得を企図した活動・事業体ではないため、収益性が低く、また財務的な基盤が脆弱であること



? : 返済原資は大丈夫??
? : 資産持っていない 担保とれない??
? : 何かあったときに誰が責任を取るのか??

- ・有志によるボランティアの集まりに留まる小規模な組織が殆どであり、様々な面でリソースが不足



? : 伴走者が必要? 誰が伴走するのか?
? : 活動の継続性は大丈夫??

② 金融機関側の問題

- ・ リスクが高いにも関わらず、見合いの利息を取ることが難しい
- ・ 担保も取れず、連帯保証も取りづらい
- ・ ソーシャルセクターの活動を支えるリソースを捻出できず、そのためのスキルセットも持っていない
- ・ 収益性の乏しい活動に参加しづらい

«金融検査の存在»

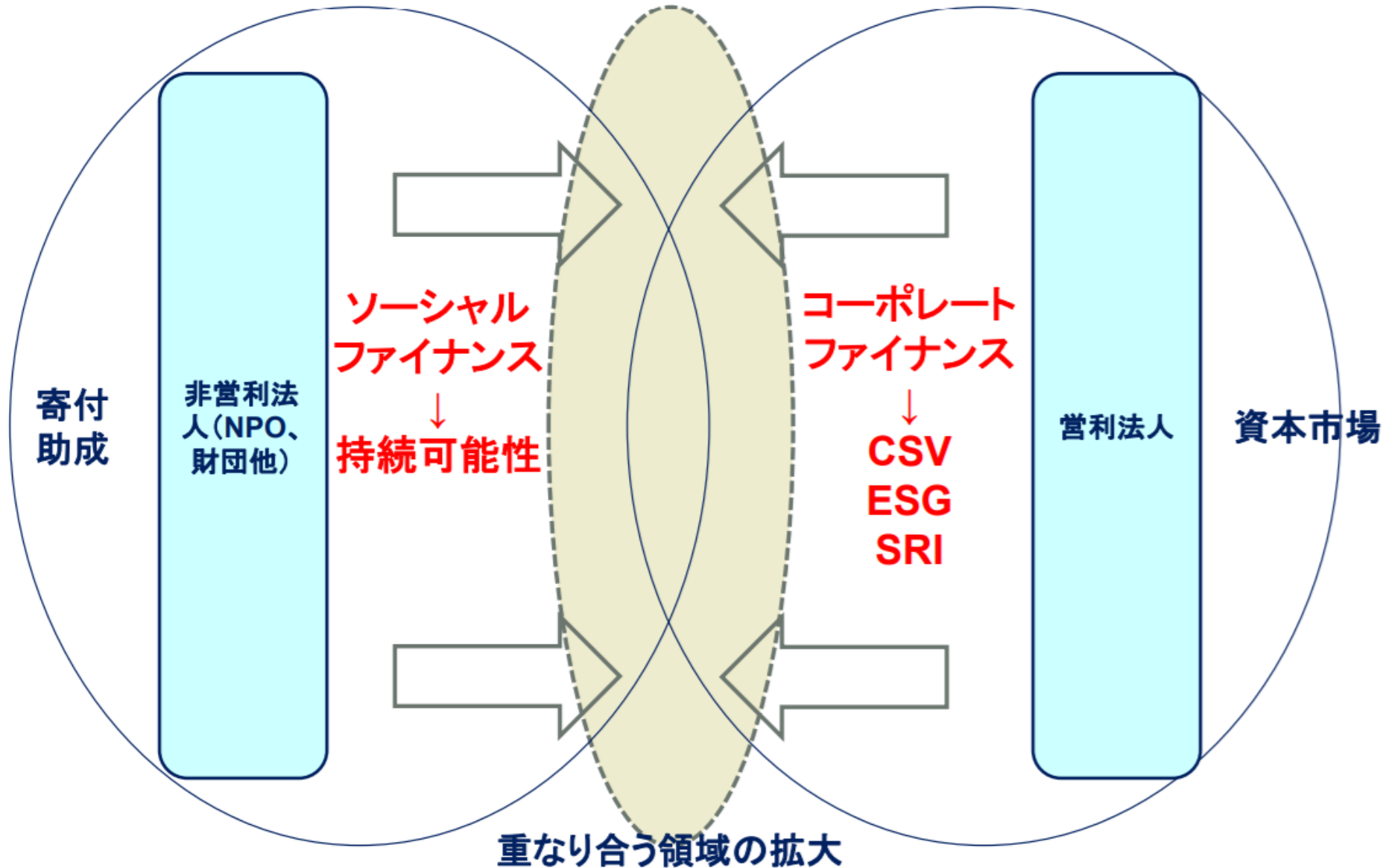
- ・ 預金を預かっている金融機関として当然に財務体質の健全性が求められる。（様々な規制、制限あり）

このような課題をもつ組織・活動をどのように
に支えられるのか



ソーシャルセクターを支えるための
別のファイナンスの仕組みが必要

SDGs (持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals) の考え方の浸透



出典：堀内 勉「新しい金融のあり方 “ソーシャルファイナンス”の概要」

事例紹介 飛騨コミュニティ財団（仮称）立ち上げ事業

Phase0

飛騨の課題感

地域の問題

年々増加する現状

育児 人口減少 孤食
ヤングケアラー 働き方 介護
自殺者数増加 不登校
ジェンダー格差 環境問題
シャッター街 若者流出 教育
サードプレイス 少子高齢化
きっかけ格差 災害リスク などなど

地域の中で

手付かすの課題

「スキマ」

が広がっている

全 独 地
て 自 域
カ セ の
バ ク 問
ー タ 題
し ー を
き だ
れ け
な い
は

この「スキマ」は誰が埋める？

これからの社会においては、
この「スキマ」は行政だけでなく
民間の企業や住民も積極的に解決
のために動かなくてはいけない

シビックプライドの醸成
当事者意識

『自分たちの町は自分たちで守る』



事例紹介 飛騨コミュニティ財団（仮称）立ち上げ事業

Phase0 飛騨の課題感

「スキマ」を埋めるために
活動する人や組織・団体
を増やし持続させていくためには
資金的な下支えが必要となる。

この領域にお金を供給するには
市中金融機関や現存のCFだけでは不十分

新しい資金供給機能としての
コミュニティ財団の必要性

気持ちに乗ったお金が
社会的事業にまわる仕組み

新たな寄付文化によって
あらゆる地域の「スキマ」が埋まる

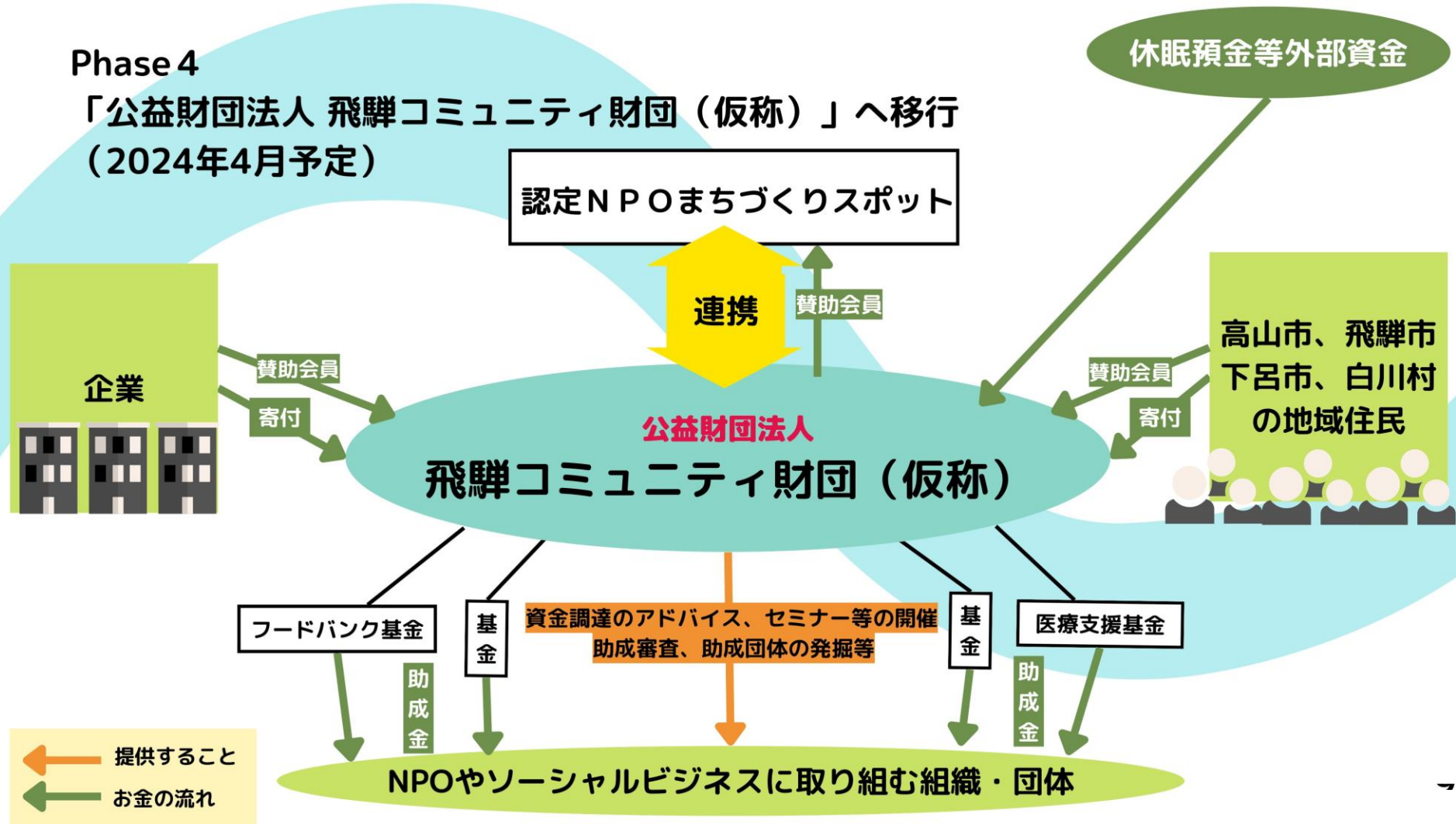
地域内の多様な背景をもつ
住民の暮らしの質を高める

事例紹介 飛騨コミュニティ財団（仮称）立ち上げ事業

▶地域のソーシャルセクターにお金が届きやすい仕組みづくり

Phase 4

「公益財団法人 飛騨コミュニティ財団（仮称）」へ移行
(2024年4月予定)



他地域事例紹介 東近江三方よし基金



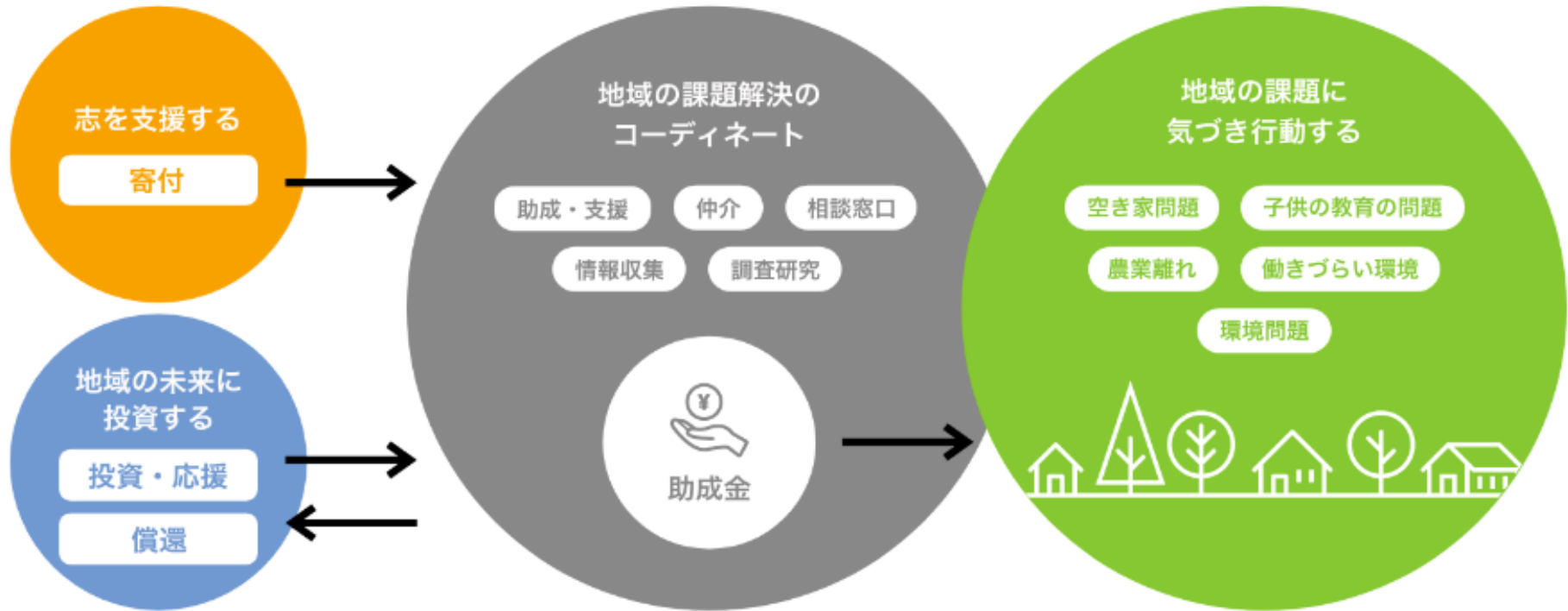
支援者（個人・企業）



東近江三方よし基金



社会的事業者

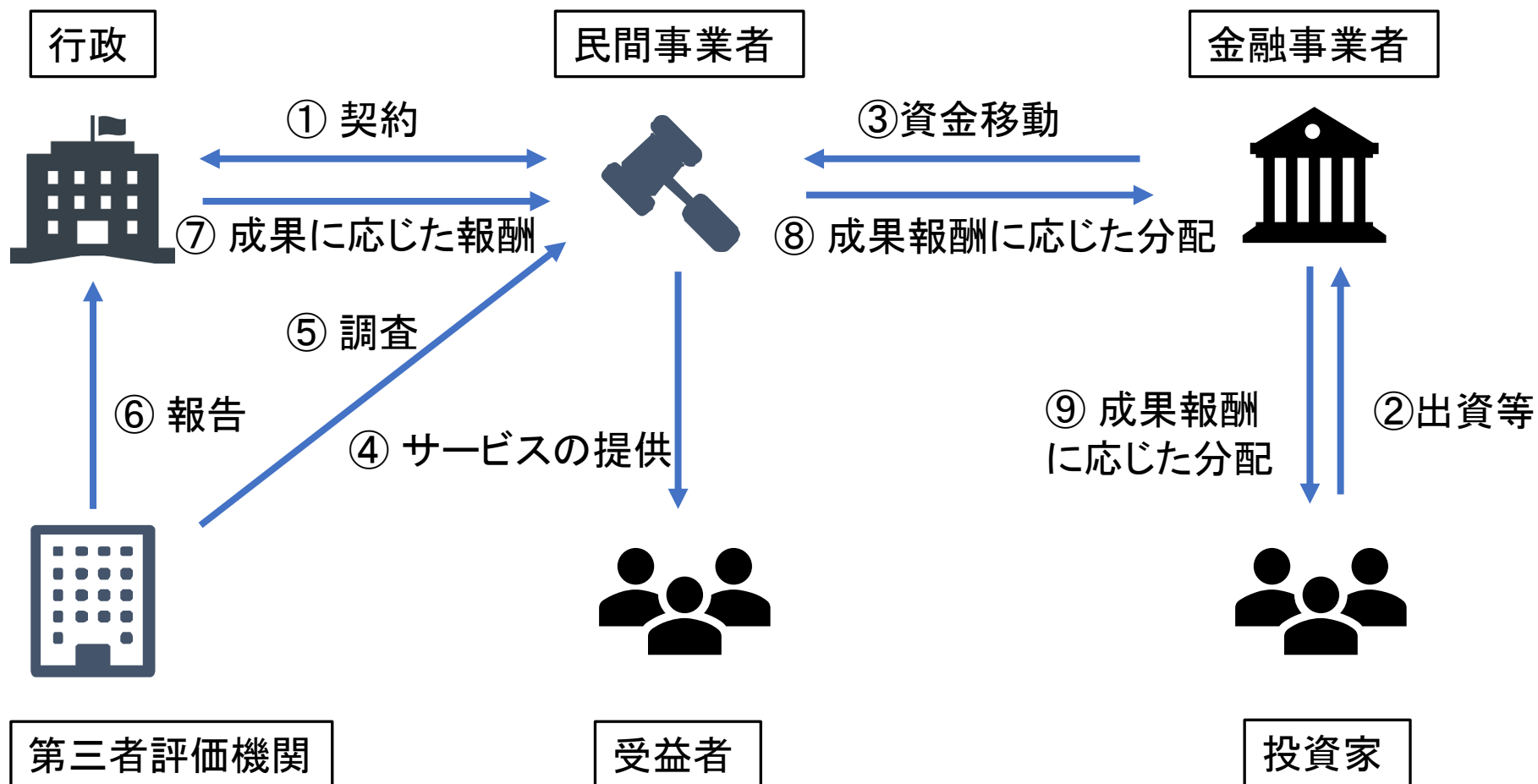


循環し、より住みよいマチに。

ソーシャル・インパクト・ボンド

特徴

- ▶ 成果に応じて行政から報酬が受け取れる契約で受託した事業に対して出資を行う新たな金融手法



東近江市版SIB事業の仕組み

出資金振込口座の提供



湖東信用金庫

出資金振込時の手数料について

湖東信用金庫ATM、インターネットバンキング、全店窓口での手続きの場合、無料となります。

※ 他行ATM、インターネットバンキング、窓口からの振込は振込手数料が必要です。

本店では下記日時でエンタライ操作説明会を行います。

※ 本説明会は、匿名組合出資の勧誘をするものではありません。

・7/16 10時-12時 ・7/19 12時-15時
・7/23 10時-15時



滋賀銀行

出資金振込時の手数料について

専用振込用紙をご利用の場合、滋賀銀行全店窓口での振込手数料が無料となります。

専用振込用紙は東近江三方よし基金がお渡ししております。

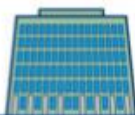


投資家

個人・法人

出資者

ソーシャルインパクトボンド(SIB)とは、社会的インパクト投資の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して、社会問題の解決を目指す成果志向の取組です。



事務局

中間支援組織:

公益財団法人

東近江三方よし基金

TEL:0748-24-5610

4 委託金



ファンド取扱者

プラスソーシャルインベストメント
株式会社

ファンド組成・募集



ファンド営業者

合同会社社会的投資支援機構



**東近江市SIB
プロジェクトアセット**

採択事業者

社会的事業の実施

① 個人・法人の皆様からご出資いただきます。

②～③ 採択事業に成果指標を設定しておき、事業を応援してくださる皆様から出資金を集め、採択事業の事業支援金とします。

④～⑤ 事業期間終了時に採択事業者が成果を達成していれば、東近江市がその元本を中間支援組織を通じて出資者に償還します。

1 匿名組合出資金

5 分配金
(成果達成に応じて)

組成費用等

2 報酬金
(成果達成に応じて)

3 事業支援金
(業務委託料)

最後に

地域の中に様々なお金の流れを作り出し

然るべきところに然るべきお金が届く仕組みが必要

